岩内港（岩内郡岩内町）に陸揚げされる様子

新幹線（あした）をつくる

鉄道・運輸機構（JRTT）は、北海道新幹線（新函館北斗・札幌間）の建設主体として、北海道新幹線の整備事業を進めています。

Vol.52

瀬棚港・岩内港にレール到着。いよいよ軌道工事を進めていきます。

国土地理院地図を加工して作成

レールを港内輸送するポールトレーラー

2025年8月、北海道新幹線に使用する長さ1本25mのレール2,000本が、岩内港に陸揚げされました。岩内港は、レールを陸揚げした港として、昨年10月の函館港、今年7月の瀬棚港に続き3箇所目となります。岩内港では、2026年度までに約4,500本の陸揚げが予定されており、今後は小樽港でも予定されています。

ところで、各港に到着したレールは、この後どうなるのでしょうか。

これらのレールは、長尺物を運ぶことができるポールトレーラーという特殊車両に乗せ、「軌道基地」と呼ぶ場所へ陸上輸送されます。軌道基地は、レール同士の溶接や貯積を行う場所として、いま工事を進めている新函館北斗・札幌間では数箇所設置することが計画されています。そして、溶接されたレールは、土木工事が完了した区間から、順次敷設されていきます。

札幌への延伸工事も、レールの本格的敷設に向けて着々と準備を進めています。今後も、一日も早い完成・開業に向けて工事を進めてまいります。

鉄道・運輸機構（JRTT）では
SNSで最新の建設情報を発信しています。
ぜひご覧ください!

JRTT 公式アカウント

X（旧Twitter） @JRTT_PR
YouTube @jrtt_offical

北海道新幹線建設局 公式アカウント

Facebook @jrtthkd
Instagram @JRTT_HKD

文／本間 吾里砂